

東洋産業だより

Vol.261

防虫×衛生管理強化
清掃用具キャンペーン実施中！

表. キャンペーン中の電動掃除用具（一例）

用途	主な製品名	作業効率
床洗浄用 ポリッシャー	イートレール	モップ作業と比べて作業時間が1/3に短縮
粉塵・埃の 吸引除去	極HEPA	大容量フィルター バッグで交換の手間を削減
天井配管・ 壁面の吸引 除去	充電式背負 クリーナー VC261DZ	コードレスで高い 吸引力と軽量化で 作業の疲労を軽減

近年、食品工場や店舗など多くの製造現場で人手不足が深刻化しており、従来の人海戦術による清掃では、衛生レベルの維持が困難になっています。このような人手不足の中、効率的で確実な清掃を実現するために、適切な清掃ツールや電動掃除用具のご使用をお勧めしています。

弊社のお客様では、どちらの食品関連施設も清掃に力を入れておられますが、「機械の隙間や床下、高所、排水溝など、清掃が困難な箇所に残渣が残ってしまい、虫の発生源となるので改善したい」、「限られた清掃の時間で最大限の効果を出したいが担当者の経験や勘に頼る部分も多いので、ばらつきをなくしたい」、「限られた人員で広範囲を清掃する必要があるため、作業効率を改善したい」といったお悩みを耳にします。

効率的な清掃を行うためには、下記の3点が重要なポイントとなります。

- ①清掃対象に応じた適切な用具、洗剤
- ②清掃時間の確保
- ③担当者の教育

例えば、高所、隙間、排水溝等の清掃しにくい場所は、その場所に合った用具を使用しているか、汚れの種類に合った洗浄剤を使用しているかなどを見直してみてもいいかもしれません。

また、機器選びの際は、泡洗浄機、スチームクリーナー、乾湿両用掃除機など一度の作業で洗浄＋除菌＋防虫効果が得られる機器を選ぶことが作業時間の短縮につながります。

さらに、重労働となりがちな床清掃や排水溝洗浄も、機器の操作が簡単で、効率の良い機種を選択することで、担当者の負担を軽減し、作業の属人化解消と衛生レベルの向上が期待できます。

人手不足の中で衛生レベルを維持・向上させるには、「効率的な機器を活かす清掃」への転換が必要です。

弊社では、現場の環境や用途に合った最適な清掃用具のキャンペーンを実施しています。電動掃除用具の無料デモ施工や、清掃用洗浄ブラシのサンプル貸出なども可能ですので、是非お気軽にお問合せ下さい。

今月の
豆知識

害虫やカビとおさらば、衣替えの注意！



涼しくなってきた、そろそろ夏ものはすべてしまう時期ですね。衣替えはただの片付けではなく、来年の夏の準備。保管方法を誤ると来年の夏に「カビ臭い」「害虫に食われた」などのトラブルが待っています。

カビ対策も害虫対策も共通して大切なのは、「汚れを落とすこと」「乾燥させること」です。クリーニングに出すのもよいですが、おうちでできるのはしまう前に弱アルカリ性の洗剤（重曹や酸素系漂白剤など）を使用し、40℃以上のお湯でつけ置き洗いをするのが効果的です。そして厚手の服は念入りに陰干しして内部まで乾かします。収納ケースやクローゼットも晴れた日に換気し、除湿剤を新しいものに交換しましょう。洗濯と乾燥でカビ臭さや害虫による害を減らすことができます。

汗や皮脂は食害の誘因になりますので、しっかり落とさないと化学繊維でもカビや虫の被害にあいます。それでもカツオブシムシやイガの幼虫は、毛や羽毛、絹などを食べますので、特定の衣服は防虫剤を収納容器の上部に置き、正しく使って毎シーズン交換しましょう。よくある失敗は、服を詰め込みすぎることと、防虫剤の使い回し。収納はケースの8割程度にとどめ、空気を循環させるとカビと害虫、両方の予防に効果的です。ときどき押し入れを覗いてカビや害虫の餌になるホコリを掃除して異常がないかチェックすると完璧ですね。

これって実はプロの防除、IPM（総合的有害生物管理）の実践です。お気に入りの服を長く守る科学的な衣替え。予防はばっちり？来年の夏の準備を始めましょう。